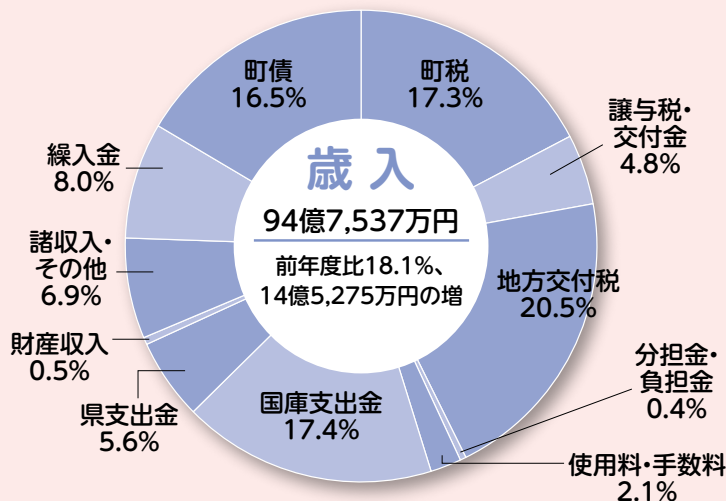


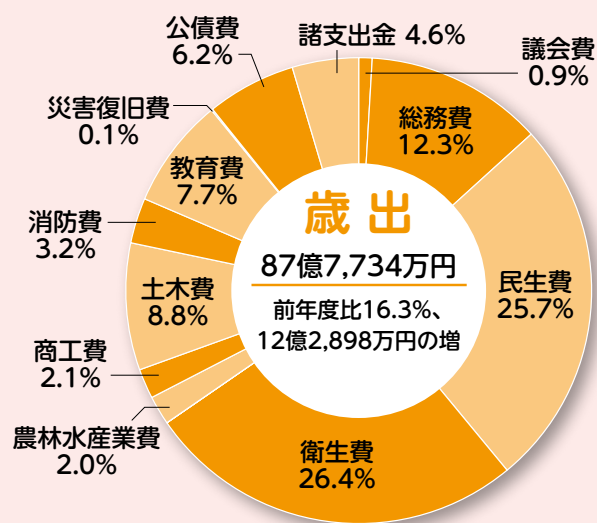
令和
5年度

決算報告

一般会計歳入		R5決算額
町 税	16億3,977万円	
譲与税・交付金	4億5,689万円	
地方交付税	19億4,692万円	
分担金・負担金	3,902万円	
使用料・手数料	2億 58万円	
国庫支出金	16億4,912万円	
県支出金	5億2,624万円	
財産収入	4,693万円	
諸収入・その他	6億5,309万円	
繰入金	7億5,471万円	
町 債	15億6,210万円	
合 計	94億7,537万円	



一般会計歳出		R5決算額
議 会 費	8,158万円	
総 務 費	10億8,374万円	
民 生 費	22億5,874万円	
衛 生 費	23億1,608万円	
労 働 費	47万円	
農林水産業費	1億7,673万円	
商 工 費	1億8,150万円	
土 木 費	7億7,341万円	
消 防 費	2億7,666万円	
教 育 費	6億7,272万円	
災 害 復 旧 費	826万円	
公 債 費	5億4,344万円	
諸 支 出 金	4億 401万円	
合 計	87億7,734万円	



10月の定例町議会で承認されました令和5年度決算のあらましについてお知らせします。令和5年度一般会計の歳入は94億7,537万円、歳出は87億7,734万円となりました。歳入から歳出を差し引いた額（形式収支）は6億9,803万円で、そこから翌年度に実施する事業に充当するために繰り越す額3億8,605万円を差し引いた額（実質収支）は3億1,198万円となりました。

歳出の主なもの	議 会 費	議会運営などに使われるお金
	総 務 費	財産管理・広報防災・徴税・戸籍・統計などに使われるお金
	民 生 費	子どもや高齢者、障害者等の社会福祉などに使われるお金
	衛 生 費	保健衛生、環境衛生、ごみ処理などに使われるお金
	農林水産業費	農林水産業の振興に使われるお金
	商 工 費	商工観光の振興に使われるお金
	土 木 費	道路、河川、住宅などに使われるお金
	消 防 費	消防、災害対策などに使われるお金
	教 育 費	学校教育や生涯学習、文化・スポーツの振興などに使われるお金
	公 債 費	町の借入金の返済のために使われるお金
	諸 支 出 金	財政調整基金など基金へ積み立てるお金

歳入の主なもの	町 税	町が課税し納付される税金
	譲与税・交付金	国税として徴収したものを、国が一定の基準により、町に対して譲与・交付されるお金
	地 方 交 付 税	全国の市町村が同水準の行政事務を行えるよう国から交付されるお金
	分 担 金 ・ 負 担 金	町の事業に対し利益を受ける人などから納付されるお金
	国 ・ 県 支 出 金	国や県からの補助金や委託金
	財 産 収 入	町が所有する財産（土地など）を貸付けたり、売却することなどによるお金
	繰 入 金	基金から一般会計に受け入れるお金
	町 債	町の借入金

会 計 別		R5 決算額		差 引 (歳入 - 歳出)
		歳 入	歳 出	
一 般 会 計		94 億 7,537 万円	87 億 7,734 万円	6 億 9,803 万円
特 別 会 計	国民健康保険	13 億 7,696 万円	13 億 6,076 万円	1,620 万円
	国民健康保険診療所	1,329 万円	1,216 万円	113 万円
	介護保険	13 億 1,671 万円	12 億 8,156 万円	3,515 万円
	後期高齢者医療	1 億 7,992 万円	1 億 7,891 万円	101 万円
	小 計	28 億 8,688 万円	28 億 3,339 万円	5,349 万円
水 道 事 業 会 計	収益的収支	3 億 7,923 万円	2 億 8,521 万円	9,402 万円
	資本的収支	2 億 5,372 万円	4 億 5,319 万円	△ 1 億 9,947 万円
	小 計	6 億 3,295 万円	7 億 3,840 万円	△ 1 億 545 万円
公 共 下 水 道 事 業 会 計	収益的収支	8 億 6,630 万円	6 億 9,389 万円	1 億 7,241 万円
	資本的収支	2 億 6,638 万円	6 億 3,791 万円	△ 3 億 7,153 万円
	小 計	11 億 3,268 万円	13 億 3,180 万円	△ 1 億 9,912 万円
合 計		141 億 2,788 万円	136 億 8,093 万円	4 億 4,695 万円

※水道事業会計、公共下水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

「医療・福祉」が充実したやさしいまち

隔年で実施していた胃がん(内視鏡)検診、子宮頸がん検診、乳がん検診を毎年受診できるよう変更し、継続して受診しやすい環境づくりに取り組みました。

妊娠期からの支援として、先進医療に対する不妊治療費の一部を助成しました。また、全妊婦訪問、産後ケア事業を継続して実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供することで、関係機関との連携のもと、子育て世帯の不安解消に努めました。

保育園等が保有する送迎を目的としたバスについて、運行に際し、乳幼児の所在の見落としを防止するためにブザー等の装置使用が義務化されたことに伴い、安全装置等の設置に係る経費の一部を補助しました。

乳幼児の使用済みおもちゃを、園で処分するにあたり、処分に必要な保管場所の改修や設備に係る経費を補助しました。

「教育・文化」で輝くまち

適切な学校施設の維持管理として、佐々小学校1階廊下改修、佐々中学校バリアフリー化や、身体が不自由な児童が2階以上の教室に行き来ができるよう口石小学校に車いす用階段昇降車を導入しました。

学校給食費負担軽減事業として、町内の小中学校に在籍する児童生徒の給食費について、第1子20%、第2子40%を補助し、第3子以降は無償化しました。また、町内中学校に在籍する生徒の令和6年1月から3月分までの給食費を無償化しました。

特別支援教育の充実として、医療的ケアが必要な児童に対応するため、町立学校に看護師1名を配置しました。

今後の中学校部活動の地域移行を検討するため、部活動の在り方検討委員会を開催しました。

令和5年3月に策定された地球温暖化対策実行計画に基づき、図書館照明のLED化工事を行うための実施設計業務を委託しました。

北部地区体育館については、老朽化に伴い、雨漏りが発生していたことから、長寿命化を図るため屋根・外壁を改修しました。

「生活・安全」を大切にするまち

公共交通の在り方を見直し、持続可能な地域旅客運送サービスを確保することを目的に、令和5年度から令和6年度にかけて佐世保市と共同で公共交通計画を策定します。令和5年度は、現況の課題整理、計画策定に伴う基礎調査及び計画素案の作成を実施しました。

地域防災拠点強化のため第5分団消防詰所を新築しました。

公営住宅等長寿命化計画に基づき市瀬第2団地(A棟)の外壁改修などを行い適切な維持管理に努めました。

し尿及び浄化槽汚泥の安定した処理を行うため、し尿等前処理施設の建設に向けて、土留め工事、杭工事の基礎工事を行い、地下水槽部の設置まで完了しました。

水道事業においては、佐々町水道事業新水道ビジョン及び佐々町水道事業更新計画に基づき、浄水場及び配水池の整備工事として千本減圧井築造工事や新平野線配水池築造工事などを、老朽化した配水管の更新工事として町道里木場線配水管更新工事や町道中央海岸線配水管更新工事などを行いました。

「自然・環境」を守りつづけるまち

ごみの減量化および資源化の拠点となる佐々クリーンセンターについては、令和4年度に引き続き基幹的設備改良工事を実施し、2炉の焼却炉のうち1炉の改良工事が完成しました。また、熔融炉が修理不能となったため、焼却灰処理運搬業務及び焼却飛灰処理運搬業務を委託しました。

省エネルギー活動の推進においては、CO₂ 排出量を削減する取組として、日常の移動手段である車の利用について、マイカーの利用自粛、エコドライブの実践を推進する県下一斉スマートムーブウィークに取組みました。

「産業・観光」でにぎわうまち

森林資源を適切に管理するため、林業経営の適否について分類を行い、林業経営に適していると判断された森林について、今後の森林整備に向けた所有者の意向を調査するため、森林所有者リストを作成しました。

ながさき移住サポートセンターや西九州させぼ移住サポートプラザを介して移住された方を対象に、引越し等に係る費用の一部を補助する「佐々町移住・定住促進支援補助金」を創設し、2件の申請があり補助しました。

「行政・財政」が持続可能なまち

議会運営の効率化・迅速化のため、タブレット端末を導入し、職員の事務作業時間を短縮し、事務の効率化を図りました。

庁舎建設事業においては、災害時に行政サービスが継続できる防災拠点として、令和4年度に引き続き本体工事を実施し、基礎工事・鉄骨工事・外部足場組立が終わり、屋根工事に着手しました。また、新庁舎工事期間中及び完成後の駐車場として活用するため、旧技能訓練校の解体に着手しました。

新庁舎移転時に安定稼働できるよう、次期サーバ・ネットワーク環境構築に向け詳細設計を行いました。

税金及び料金等の口座振替申し込みについて、利用者の利便性向上を図るため、従来の紙での申し込みに加え、WEB上で申し込みが行えるよう、口座振替WEB受付サービスを導入しました。

「情報共有・協働」のみんなのまち

行政情報を迅速に発信するため、広報紙・ホームページ・SNSなどの広報媒体を活用し、各種行政情報を発信しました。また、佐々町議会においても、令和5年度から本会議に加え、付託となった委員会の会議録をホームページへ掲載し、議案の審査過程についても広く公開しました。

広聴機会の充実を図るため、第1期佐々町保健福祉総合計画、第2期佐々町子ども読書活動推進計画のパブリックコメントを実施し、住民説明会として、保健福祉総合計画アンケート報告会を行いました。

佐々町に思いを寄せる方々からの応援窓口として、ふるさと納税のさらなる新規事業者の参入を手掛けるとともに、新たな返礼品の増加に取り組みました。また、寄附者目録に立って、ユーザー心理を掴むようなポータルサイトの作り込み・更新を行いました。

町民一人あたりに換算すると…【一般会計決算額】

歳 入			
町 税	118,258円	財 産 収 入	3,384円
譲与税・交付金	32,950円	諸収入・その他	47,100円
地方交付税	140,410円	繰 入 金	54,429円
分担金・負担金	2,814円	町 債	112,657円
使用料・手数料	14,466円		
国庫支出金	118,933円		
県 支 出 金	37,952円		
歳 入 合 計	683,353円		

基金(一般会計) 341,075円〈預金〉

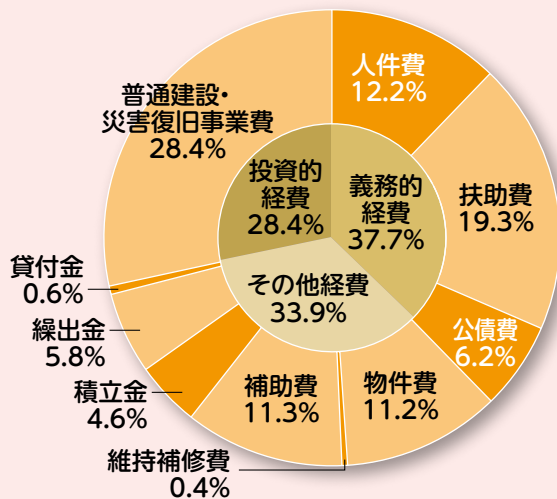
町債(一般会計) 403,977円〈借金〉

※令和6年3月末現在の住民基本台帳人口(13,866人)を基に町民一人あたりの決算額を計上しています。

歳 出			
議 会 費	5,883円	土 木 費	55,777円
総 務 費	78,158円	消 防 費	19,953円
民 生 費	162,898円	教 育 費	48,516円
衛 生 費	167,033円	災 害 復 旧 費	595円
労 働 費	34円	公 債 費	39,192円
農林水産業費	12,746円	諸 支 出 金	29,137円
商 工 費	13,089円		
歳 出 合 計	633,011円		

※令和6年3月31日現在の人口 13,866人

一般会計歳出／性質別の状況



【主な投資的事業】

事業名	決算額
佐々クリーンセンター基幹的設備改良事業	15億9,716万円
庁舎建設事業	3億8,963万円
道路新設改良事業	1億6,615万円
町営住宅整備改修事業	5,779万円
第5分団消防詰所新築事業	5,399万円
北部地区体育館屋根外壁改修工事	3,795万円
佐々中学校バリアフリー化工事	2,771万円
佐々中学校B棟1階床改修工事	2,688万円
河川改良事業	2,688万円

区 分	歳出の内訳(性質別)	R5決算額
義務的経費	人件費(町職員の給与、町長や議員など特別職の報酬、会計年度任用職の給与など)	10億6,692万円
	扶助費(住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、福祉医療費の助成、児童手当など)	16億9,280万円
	公債費(国や金融機関から借りたお金の返済金)	5億4,344万円
	小 計	33億 316万円
その他経費	物件費(公共施設の光熱水費、予防接種委託料、ごみ収集等佐々クリーンセンター各種業務委託料など)	9億8,652万円
	維持補修費(公共施設の維持補修費など)	3,739万円
	補助費等(下水道事業会計補助金、広域消防負担金、各種団体への補助金や負担金など)	9億9,088万円
	積立金(基金への積立)	4億 381万円
	繰出金(国民健康保険や介護保険などの特別会計への支出)	5億1,378万円
	貸付金(中小企業振興資金融資制度預託金など)	5,046万円
	小 計	29億8,284万円
投資的経費	普通建設・災害復旧事業費(施設の建設・改修費、河川・農地などの災害復旧整備など)	24億9,134万円
合 計		87億7,734万円

義務的経費／支出が義務づけられ任意に節減できない経費

投資的経費／支出の効果が資本形成に向けられ、将来に残るものに支出される経費

町債の状況

町債とは、道路、公共施設の建設や下水道施設整備などの事業を行うときなどに必要な資金を、国や金融機関から借り入れる町の借金です。

【左記のうち、令和5年度に新たに借り入れた主な町債】

【町債の現在高】

区 分	R5年度末現在高
一般会計	56億 154万円
水道事業会計	11億2,112万円
公共下水道事業会計	31億7,680万円
合 計	98億9,946万円

財産の状況

区 分	R5年度末現在高
土 地	2,492,364㎡
うち山林	1,491,930㎡
建 物	86,399㎡
有 価 証 券	415万円
出資による権利	3,646万円
債 権(貸付金)	7,484万円
基 金(全会計)	53億8,067万円

区 分	町債の内容	借入額
一般会計	臨時財政対策債	3,320万円
	市町村役場機能緊急保全事業	2億9,800万円
	ごみ処理施設基幹的設備改良事業	9億8,530万円
	橋梁長寿命化対策事業	1,050万円
	長寿命化事業(道路舗装補修事業)	2,690万円
	長寿命化事業(道路交通安全施設補修事業)	1,340万円
	自然災害防止事業(道路防災事業)	1,060万円
	自然災害防止事業(河川事業)	1,580万円
	公営住宅改修事業	3,660万円
	消防詰所新築事業	5,390万円
	中学校バリアフリー化事業	1,400万円
	図書館照明LED化事業	110万円
	長寿命化事業(北部地区体育館屋根外壁改修事業)	3,410万円
	その他	2,870万円
	小 計	15億6,210万円
水道事業会計	千本減圧井築造事業など	2億5,240万円
公共下水道事業会計	し尿等前処理施設建設事業など	1億4,160万円
合 計		19億5,610万円

臨時財政対策債／国からの地方交付税の不足分を補うために自治体が借り入れるお金です。返済に係るお金は後年の国からの地方交付税に算入されます。